

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 グループホームじゃんけんぽん

作成日: 令和6年5月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	7-b	利用者様と慣れ合いになり、どうしても、慣れ慣れしい言葉遣いになっている。少人数で勤務をしている為、注意がしにくい、仕事がやりにくいと言う事もあり、お互いが注意がしにくい環境がある。	不適切な声掛けがあれば、お互いその都度注意をし合う。	ユニット会で事例を出し皆で話し合う。注意しても聞いてもらえない場合は、リーダーに報告する。一人一人が常に意識を持ち、不適切な声かけをしない様にする。	12 か月	
2	13-b	家族、地域の人やボランティア、認知症サポーター等の協力も得ながら、外出支援をすすめている。	・四季折々の外出支援を、家族や地域住民の参加者を増やしたり、家族様に送迎を依頼する。	・年間行事予定を作成し地域や家族に配布し、参加しやすいように意識を高め参加の働きかけをする。	12 か月	
3	17-i	重度な状態であっても、調理の音やにおい、会話などを通して利用者が食事が待ち遠しくおいしく味わえるよう、雰囲気づくりや調理に配慮している。	・利用者と一体感を持つようにする。 ・食べる楽しみだけでなく、調理前の準備など自分の役割を持てるようになる。	・その方のレベルに応じて野菜の皮むきや、味付けを見てもらう。	3 か月	
4	17-f	歯がなくなったり、嚥下の状態がわるくなったりしてくると食べる楽しみが半減してくる。食べれる形状にしたり、とろみをつけたり、ムース食にしたり工夫しているが、最後まで自分の口で食べれるように口腔内の衛生に気を付け少しでも長く自分で食べれるようにしたい。(パー)	毎日の食事の後、口腔ケアを行い、いつも口の中を清潔に保つ。スタッフとご利用者様が協力して口腔内の清掃をする。毎月1回定期的に歯科検診を受ける。	歯科医の先生から正しい方法をレクチャーしていただき毎日の支援に活かす。夕食後の口腔ケアは念入りにする。食後はお茶などを飲み口の中をきれいにする。強要すると口の中を見せてくれなくなるので少しずつ、納得していただきながら進めていく。	12 か月	
5	43-a	職員それぞれが定期的に虐待の研修を受けており、理解できていると思うが、対応の仕方が職員間バラバラで一定の介護ができていないことがある。(パー)	利用者さんに対する言葉使いを目標に挙げ、相手を敬い、親しさの中にも礼儀をつくし、支援する。	普段から、敬語を使って話す。親しくなりすぎてためぐちでははなさない。TPOをわきまえ、利用者さんと接する。信頼関係が築け安心してもらえるような関係を築く。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		☐ ⑤その他()